

事項	ぶどう「サニールージュ」における長梢せん定の優位性		
ねらい	これまでぶどう「サニールージュ」の産地化を推進してきたが、短梢せん定で栽培する園地が多い。今回、せん定法の違いと花穂長、果実品質、収量などを比較検討したところ、長梢せん定の優位性を裏付けるデータが得られたので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 露地栽培、無加温ハウス栽培とも、350 g以上の果房重の確保が見込まれる、開花時における5 cm以上の花穂長割合が9割以上を占める。</p> <p>2 露地栽培での果房重は350 g以上の割合が高く、糖度は短梢せん定と同程度である。</p> <p>3 露地栽培での3か年平均の収量は10 a当たり1.6 tで、短梢せん定よりも多収である。</p>		
期待される効果	長梢せん定にすることにより、350 g以上の高品質果房の安定生産が図られる。		
普及上の注意事項	<p>1 露地栽培はグローワールドモンペリエ台木、7年生樹（平成21年）までの調査結果である。</p> <p>2 無加温ハウス栽培はテレキ5 B B台木、6年生樹（平成21年）での単年度の調査結果である。</p>		
担当部署 (担当者名)	りんご研究所 県南果樹部 (久保 隆、町田郁夫、藤村泰樹、山道和子) 三八地域県民局 地域農林水産部 普及指導室 (三浦一昭、工藤秀樹、土嶺康憲、板垣美香子)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成19～21年度 試験研究成績概要集（りんご研究所）		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 露地栽培での開花時における花穂長別の割合  
(平成20～21年 青森りんご研県南果樹部)

区	花穂部位	花穂長 (cm)	花穂長割合 (%)	
			5cm未満	5cm以上
長梢せん定	第1花穂	8.0	5	95
	第2花穂	6.6	10	90
短梢せん定	第1花穂	5.0	53	47
	第2花穂	4.5	70	30

- (注) 1 台木：グローワールドモンペリエ  
2 栽植密度：2.5m×5.0m  
3 整枝：一文字両側整枝

表2 露地栽培での果房重の違い  
(平成19～21年 青森りんご研県南果樹部)

区	果房重 (g)			
	平19	平20	平21	平均
長梢せん定	318	345	352	338
短梢せん定	244	302	245	264

- (注) 表1と同一樹での調査

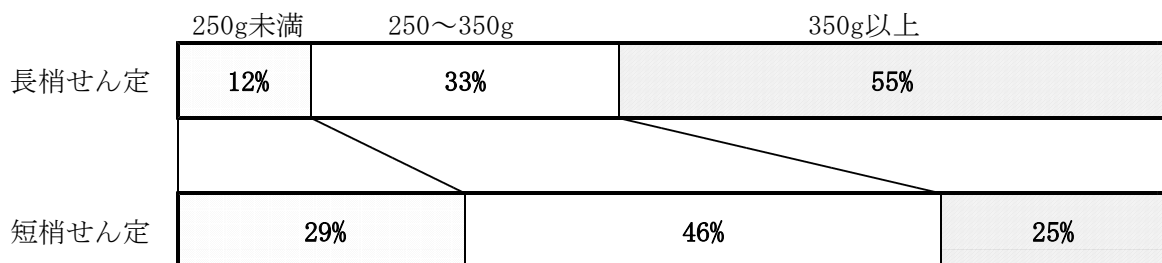


図1 露地栽培での果房重の分布割合 (平成20～21年 青森りんご研県南果樹部)

表3 露地栽培での収量の推移  
(平成19～21年 青森りんご研県南果樹部)

区	収量 (kg/10a)			
	平19	平20	平21	平均
長梢せん定	1,994	1,240	1,642	1,609
短梢せん定	1,008	840	1,169	1,009

- (注) 表1と同一樹での調査

表4 露地栽培での果実品質  
(平成21年 青森りんご研県南果樹部)

区	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	着色 指数
長梢せん定	352	5.9	16.3	0.799	2.3
短梢せん定	245	5.9	17.1	0.674	3.2

- (注) 1 収穫：9月22日 (長梢せん定区は適期前収穫)  
2 着色指数：5段階区分 (適期：3)

表5 無加温ハウス栽培での開花時における花穂長別の割合  
(平成21年 三八普及指導室)

区	花穂長 (cm)	花穂長割合 (%)	
		5cm未満	5cm以上
長梢せん定	7.8	0	100
短梢せん定	7.0	8	92

- (注) 1 樹齢：6年生  
2 台木：テレキ5BB  
3 整枝：一文字両側整枝

表6 無加温ハウス栽培での果実品質  
(平成21年 三八普及指導室)

区	果房重 (g)	1粒重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
長梢せん定	359	6.0	18.1	0.585
短梢せん定	336	5.8	16.8	0.680

- (注) 1 表5と同一樹での調査  
2 収穫日：8月19日